

東吾妻町議会だより

第48号

みんなの議会

2018.2.1



今号の内容

12月定例会で決まったこと……	2
一般質問 町に聞いてみました…	10
平成29年度議会報告会……	16
吾妻高校生議会を開催……	20
東吾妻中学生議会を開催……	24
各委員会からの活動報告……	26
まちの声……	28

町内各地区でどんどん焼きが行われた (1月14日/郷原の古谷地区)

12月定例会で決まったこと

会期：12月5日～14日（10日間）

12月定例会に提出された議案など

●町長からは24件（条例関係16件、補正予算6件、その他2件）の議案が提出されましたが、議員から2議案について修正案が提出され、修正案および原案についての採決が行われました。

（7ページの「議案などの審議結果」参照）

町長らの期末手当などが改定されました

人事院勧告、県の人事委員会勧告を受け、平成29年度支給分から給与などを改定します。

●町長・副町長・教育長の期末手当支給率を年間0.1力月分増額します。

●職員 給料月額を平均0.2%増額します。また、期末・勤勉手当を年間0.1力月分増額します。

なお、議員の期末手当の額および支給方法については否決しました。

質疑

議員 議員報酬や特別職の給与、職員の給与の改正については、国の人事院勧告を受けての提案であると説明を受けているが、今年度の分と来年度の分と分けて幾らかを教えてください。

総務課長 多少異動の分も入っているが、特別会計合わせた全体額で146万8000円を計上している。

議員 ラスパイレス指数というのがありますが、これは全地方公共団体の一般行政職の給料の月額を同

一の基準で比較している。東吾妻町は99.2だが、全国の町村平均は96.3である。町の財政状況は県内でも下位なのだから、給料を上げるのは我慢してもらいたいと思うが。

町長 周辺の状況、県内の状況等も見ながら、今後もしっかりと精査をしていきたい。

議員 国家公務員を100とするとうちは99.2で、ほぼ国家公務員並み。人口規模、産業構造が似ている類似団体は96.2なので、東吾妻町は3ポイントほど高いが。

町長 東吾妻町の職員は高年齢、50歳以上が多いためそういう傾向が出てきている。

議員 給食費の無料化も審議されるわけなので、議員の報酬も特別職の報酬も下げ、それを子育て支援に回すべきだと考えるが。

町長 職員、特別職等の給与も、周辺の状況等を

勘案しながら提案したので、ご理解いただきたい。

議員 東吾妻町だけでなく日本全国で少子化現象が起きており、若い世代の所得の減少が少子化の大きな要因となっている。今政府がやるうとしているのは、若い世代の所得を上げてやるうということで、企業の労働分配率を引き上げていくという流れになっていると思うが。

町長 子育ての世代に向けた支援を充実させていくという方向だと思っ

認定こども園条例が制定されました

平成30年4月1日から、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ、認定こども園が設置されることが決まりました。

これに伴い現在の5幼稚園がそれぞれ認定こども園となり、1号認定（3～5歳児で保育を必要と

●東吾妻町の

「認定こども園」と「保育所」の名称など

●1号認定 ※3～5歳児で 保育を必要としない子	▼現在	東幼稚園	→	▼4月から	あづまこども園 (箱島1270-11)	
		太田幼稚園	→		おおたこども園 (植栗3333)	
		原町幼稚園	→		はらまちこども園 (原町5160)	
		岩島幼稚園	→		いわたこども園 (岩下45)	
		坂上幼稚園	→		さかうえこども園 (本宿407-1)	
●2号認定 ※3～5歳児で 保育を必要とする子	▼現在	あづま保育所	→	▼4月から	あづまこども園 (箱島1270-11)	
					おおたこども園 (植栗3333)	
		原町保育所	→		はらまちこども園 (原町5160)	
		岩島保育所	→		いわたこども園 (岩下45)	
		大戸保育所	→		さかうえこども園 (本宿407-1)	
●3号認定 ※0～2歳児で 保育を必要とする子	▼現在	あづま保育所	→	▼4月から	あづま保育所 (箱島1269-1)	
				▼4月から		
		原町保育所	→		原町保育所 (川戸737)	
		岩島保育所	→		▼平成30年度中(予定)	(仮称)原町保育所 (はらまちこども園の隣接地に新築)
		大戸保育所	→			

しない子)と2号認定(3〜5歳児で保育を必要とする子)を受け入れます。また、3号認定(0〜2歳児で保育を必要とする子)については、あづま・原町の2保育所が受け入れます(大戸・岩島保育所は平成29年度末に廃止予定)。

なお、原町保育所に関しては、平成30年度中にははらまちこども園の隣接地に新築される予定です。

●修正動議の提出
第4回定例会第1号(12月5日)に町長から提出された議案第15号(東吾妻町立認定こども園条例について)に対し、原案の第4条(施設の名称及び位置)を修正する案が議員12名から出され、第2号(12月13日)に採決が行われました。

その結果、原案のこども園の名称を「東吾妻町立認定こども園東幼稚園」とする案を「東吾妻町立あづまこども園」と

修正する修正案(他4園についても同様)が可決され、それ以外の部分は原案可決となりました(こども園の名称・位置については上図を参照のこと)。

保育所・認定こども園の利用者負担額が決まりました

認定こども園の開設に合わせこども園と保育所の保育料を1つの条例で規定し、名称を保育料から利用者負担額へと変更しました。

●修正動議の提出
第4回定例会の12月5日に町長から提出された議案第17号(東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例について)に対し、次の修正案が議員3名から出されました。

原案の第4条(利用者負担額の徴収)を1号認

定は全額免除、3号認定は2分の1の額を免除するといふもので、平成31年4月1日からは全額免除とするというもの。第5条(幼稚園型一時預かり保育料)、第6条(延長保育料)、第7条(一時預かり保育料)については、平成31年4月1日から全額免除とするというもので、12月13日に採決が行われました。

その結果、修正案は否決され、原案が可決となりました(原案可決となった利用者負担額については4ページの図を参照のこと)。

修正案に対する質疑

議員 今回の修正案は利用料の見直しについての修正案と解釈していいか
修正動議発議者代表 基本的にそうである。
議員 地方自治法第112条、149条、222条に議員の提出権や執行者の予算編成権、執行権

がうたわれているが、それを認識し修正案を出されたのか。

修正動議発議者代表 議員の権限において、修正案を出させていたでいていと認識している。

議員 修正案が可決されると予算編成すること、で、予算を伴う修正案ということではないか。

修正動議発議者代表 結果的には、予算を伴うという解釈で結構だと思う。

議員 入所の希望人数がふえた場合、先生をお願いする期間もあるし人的経費もかかると思うが。

修正動議発議者代表 安くなつて応募者が多くなつた場合、どう対応するのかという質問だと思うが、そつなつた場合は努力していただくことになつてと思う。

議員 認定こども園の募集はどのような状況になつているか。

教育課長 募集期間中

まもなく12月15日が締め切りとなつている。

議員 料金についてはどういつた募集状況になつているのか。

教育課長 説明会を10月の下旬に実施し、1号認定については今回提案させていたでいた料金設定、2号認定は今回の提案よりちよつと高い設定、3号認定は今回提案している金額で説明している。

議員 修正案が可決となつた場合には募集をかけたいかなくはならないと思つし、料金についても示していかなくはないと思つが、問題点などないか。

教育課長 料金の変更になるので、混乱を生じることが想定される。

議員 無料化になつたときの金額（町の負担額）はいくらか。

修正動議発議者代表 おおむね2500万円ぐらいと試算している。

議員 平成31年4月に完

全に無料化になつた場合、2500万円ほどということだが、金額を試算できるか。

教育課長 29年度の当初予算で考えると、1・2・3号認定合わせて2900万円くらいだと思つ。

修正案に対する反対討論
重野能之議員

あくまで今回の執行部提案、原案というものは文教厚生常任委員会、また執行部が、町が保護者の方々と意見を聞いたたり議論を重ねてきた上でのその原案であるということとを前提に、討論を述べさせていたでいた。1日も早く子供たちがそして保護者の方々が納得できる形での安全・安心なこども園利用料、無償化を実現するために今回の修正案には反対する。

施設の整備、保育人材の確保等、さまざま問題が考えられる中で、文教厚生常任委員会での議

▶利用者負担額(月額)

階層区分		1号認定		階層区分		2号認定		3号認定	
		教育標準時間				保育標準時間	保育短時間	保育標準時間	保育短時間
第1	生活保護法による被保護世帯	0円		第1	生活保護法による被保護世帯	0円	0円	0円	0円
第2	町民税非課税世帯	1,000円		第2	町民税非課税世帯	1,300円	1,300円	3,600円	3,600円
第3	町民税所得割課税額世帯 77,100円以下	2,000円		第3	48,600円未満	3,700円	3,700円	9,700円	9,600円
				第4	48,600円以上 97,000円未満	6,100円	6,000円	15,000円	14,800円
第4	211,200円以下	2,000円		第5	97,000円以上 169,000円未満	9,400円	9,300円	22,200円	21,900円
第5	211,201円以上			第6	169,000円以上 301,000円未満	13,200円	13,000円	30,500円	30,000円
		第7	301,000円以上 397,000円未満	17,500円	17,200円	40,000円	39,400円		
				第8	397,000円以上	23,000円	22,600円	52,000円	51,200円

▼幼稚園型一時預かり保育料

区分	保育時間	幼児1人あたりの保育料
平日	教育時間終了後から16時まで	1日200円
土曜日	8時30分から16時まで	1時間あたり200円または1日1,000円
長期休業中	8時30分から16時まで	1時間あたり200円または1日1,000円

●「認定こども園」と「保育所」の利用料など

論が深まっていない状況で、利用料設定や無償化、条例化だけを進めることは政治の無責任であると考えている。そこに大切な子供、我が子を預ける保護者、そして預けられる子供たち、なおかつ教育、保育に携わる先生方全ての心からの安全と安心を確保するための、まずは万全な体制づくりこそが順序として先であると思う。

そのためにも、執行部として今回ご苦労されている文教厚生常任委員会、また議会全体がスクラムを組んで心を一つにして、もう一度議論を尽くすべきものと思う。それこそが1日も早い、早急な保育料、利用料の無償化の実現へとつながるものと確信する。保護者、また現場の混乱を回避し、何よりもそこに通う子供たちのためにも、どうかもう1週間、もう1カ月みんなで議論をし

て、そしていい認定こども園を子供たちのために保護者、保育士、職員の方々のためにいいもののみならずつくっていいものではないでしょうか。

よって本件、修正動議には反対であり、諸先輩議員各位の良識あるご判断を切に願うものである。

修正案に対する反対討論

須崎幸一議員

修正案に対し、反対の討論を行う。

1つとして、議員がこの予算を伴う条例の修正案については、十分に執行者と協議し、理解を求め、了解のもとに修正案が出されていない。2として、執行部が手続の見直しをすることにより、利用者の、保護者の混乱を来すおそれがある。

3番として、地方自治法の112条、149条、222条に照らして、議

員が予算を伴う修正案を出すことにはかなり法律上無理があるように感じられる。

それから、財政上、給食費の無料化、そして保育料の無償化、これが実施されると約8000万円、こういったことの経常経費比率がかさみ、健全化比率についても悪化する懸念がされる。

4つのことを考えると、修正案については反対をするものである。

給食費が無料となります

学校給食は現在有料ですが、給食を教育の一環としてとらえ、4月から保護者に負担していただく給食費（町立認定こども園・町立小学校・町立中学校の給食）を免除します。

質疑

議員 給食費無料化が原

案のとおりだと、5200万円の年間の財政負担が生じると説明を受けている。県内35市町村では8市町村が完全無料化しており、郡内では嬭恋村と草津町が完全無料化になっている。子育て世代の負担を軽くするというのは誰でも異論がないことだが、5200万円の財源をどういうふうに考えているか。

町長 給食費の無料化は子育て支援には非常に重要な施策だと思っている。

財源については、新巻地区のゴルフ場跡地に太陽光発電所が建設されているが、稼働初年度は固定資産税が1億円近く入ってくる。また、既に稼働している甘酒原太陽光発電も、かなりの額が入ってくると思う。八ッ場ダムが完成するとダム直下に企業局の水力発電所ができ、その使用した水を東京電力が導水管を設置して発電に利用する。こ

れにより年間数千万円の固定資産税が町に入ってくる。他にも固定資産税や法人税の見込みが多いので、給食費の無料化に回せると考えている。

議員 給食費半額でもいいのではないかと。また、高齢化社会ということもある中で、子供にない世帯、高齢者家族には恩恵が全くないと考える方もいる。いろいろなツケが残ることについてどう思うか。

町長 お年寄りのための事業も各種の医療補助等行っており、この無料化のために新たな財源も求めて事業の見直し等行っていくので、ツケが残るようなものではない。

議員 無償化することによって、経費も節約していかなくてはならない。そういった動きになって食の安心が確保されるのかと、給食の質に対する懸念があるのだが、どう考えるか。

町長 給食の質が下がることは絶対にないと明言する。

議員 保護者に対し、給食はこうだった安全なものなんだということをごう示していかうと考えているのか。

教育長 献立表があるが、これからは学校便りや学年便り等も使って子供たちの感想なども付け加えていかなくてはならないと考えている。また、給食センターに試食に行くということも考えられる。

議員 食育や地産地消という言葉が聞こえなくなってきたが、食の大切さや給食の大切さ、ありがたさを子供たちに伝えてほしいので、約束していただきたい。

議員 財源論の中で特別委員会の中で気になったことは、固定資産税等が3年ぐらいは入ってこないで基金を運用すると財政担当が言ったのだが、本当におこなっていいと考えるか。

町長 安全が担保できるものを活用しながら、ふやしていくということである。

議員 基金の運用で安全が担保できるものはあるのか。

企画課長 基金の運用というのは今検討しているという段階で、完全に安全だとは言えないが、各自治体の地方債あたりを考えている。

議員 それは本当は禁止手ではないのか。

町長 もし基金を運用する必要が出た場合で、そこまでいかないで完全無償化が実施できると思っている。

議員 給食費無料化はこの町の学校、幼稚園に

通っている子供たちにとこの市町村に通っている子供たちに関してはどうするか。

教育課長 教育の支援費とか補助金等で支援をしていけたらと、事務レベルで検討している。

平成29年度一般会計補正予算が可決されました

歳入歳出にそれぞれ5億1328万円を追加し、総額をそれぞれ98億4752万円としました。

質疑

議員 5億1328万4000円の追加補正で総額98億4752万3000円という大きな金額になった。予算編成方針は年度途中の追加補正は制度の改正を伴うもの並びに災害復旧等、緊急を要するもの以外は原則として認めないというのが

あるのに、保育所の施設整備事業(設計費も含む)4億9680万円という大きな追加補正が出てきたわけは。

副町長 各幼稚園の検討をする部会でいろいろ視察に行き、町に合うものはどのくらいのものか検討してきた。不確定なもの

のとは当初予算には載せないで、ある程度設計が済んで額が出た段階で、動かない額を載せようという基本方針があったので、今回補正という形で載せさせていただいた。

平成29年度 補正予算 一覽

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	5 億 1328 万円	98 億 4752 万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	339 万円	1 億 430 万円
介護保険特別会計	97 万円	16 億 8680 万円
下水道事業特別会計	38 万円	5 億 5034 万円
簡易水道特別会計	8 万円	7095 万円

一般会計補正予算一覽(主なもの)

会 計 名	補 正 額
保育所施設整備事業(工事請負費)	4 億 8600 万円
公営住宅管理費(工事請負費)	960 万円
幼稚園施設整備事業(工事請負費)	-1814 万円

小万沢スポーツ広場を体育施設から削除

萩生地区の小万沢スポーツ広場は、設置後長

議案などの審議結果

議案名等	議員名等														議決日					
	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 一場	2 里見	3 小林	4 重野	5 竹淵	6 佐藤	7 根津	8 樹下	9 山田	10 茂木		11 金澤	12 青柳	13 須崎	14 浦野	
第3回 臨時会 平成29年10月27日																				
専決処分の承認（平成29年度東吾妻町一般会計補正予算（第3号））	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/27
平成29年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/27
工事請負契約の締結（5-40号橋（寺澤橋）補修工事）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/27
第4回 定例会 平成29年12月5日～14日																				
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	14	5	8	否	-	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	12/13	
東吾妻町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	14	7	6	可	-	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	12/13	
東吾妻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	14	8	5	可	-	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	12/13	
東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町公共物使用等に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町立認定こども園条例に対する修正案	14	12	1	可	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町立認定こども園条例（修正議決した部分を除く原案）	14	12	1	可	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町立学校給食費徴収条例の全部を改正する条例	14	10	3	可	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	12/13	
東吾妻町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例に対する修正案	14	6	7	否	-	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	12/13	
東吾妻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例	13	7	5	可	-	○	×	○	×	/	○	×	×	×	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町立学校通学問題審議会条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
東吾妻町体育施設使用料条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町一般会計補正予算（第5号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
平成29年度東吾妻町水道事業会計補正予算（第1号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
訴えの提起	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	
工事委託契約の変更締結	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/13	

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、/…退席 ※議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

い年月が経過して利用率も減少し、ここ数年は使用されていないため廃止しました。

その他決まったこと

- 東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町公共物使用等に関する条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町立学校通学問題審議会条例の一部を改正する条例
- 東吾妻町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

改正する条例

■訴えの提起
旧国民宿舍様名吾妻荘の指定管理者に対し、収入未済となつている施設使用納付金の支払いを求め、訴えを前橋地方裁判所に提起するもの。

■工事委託契約の変更締結
町道松谷六合村線（町道三島松谷線）改築事業で、契約金額を変更するもの。

●変更後の金額：847万7800円

●契約相手：群馬県知事 大澤正明（前橋市）

平成29年第3回臨時会（29年10月27日）で決まったこと

一般会計補正予算の第3号は歳入歳出それぞれ1443万円追加し、総額をそれぞれ93億2012万円の専決処分を承認しました。

また、第4号は歳入歳

出それぞれ1411万円追加し、総額をそれぞれ93億3423万円としました。

質疑

議員 都市交流推進事業についてだが、台湾の基隆（キールン）市と交流を始めるという趣旨は大変いいと思うが、石坂莊作さんという方の存在について企画課で調べ発案したのか。

企画課長 台湾の謝駐日代表が来町したときに、台湾で功績があった方だということを知り、それをきっかけに交流ができないか調べた。

町長 石坂莊作さんについては原町史に書かれており、善導寺に荒れた墓もあつたが町民にもあまり知られていなかった。

また、杉並区も台北と交流をしており、台湾人の職員が帰国したときに基隆市に寄り石坂さんの足跡を見てきてくれた。

企画課長 基隆市の文化局長が来日したときにお会いし、交流をしたいという話を市長に伝えてほしいと依頼した。

議員 東吾妻町が姉妹都市などの提携をしている市町村は、杉並区、和歌山県田辺市、島根県出雲市がある。南相馬市とは災害時相互援助協定を結んでおり、滋賀県愛荘町と徳島県藍住町とは災害時相互援助協定を結んでいる。新たに台湾の基隆市との交流を行うのも大切だが、かつて仲よかつた市町村のことなども忘れないでほしいが。

町長 最近あまり交流がないところとも引き続き、そして海外との交流も考えてまいりたい。

議員 台湾とはどのような交流をしていく考えか。

町長 基隆市から多くの人に来ていただいて東吾妻町の文化に理解をいただき、東吾妻町の町民も基隆市へ行って異文化、

石坂莊作さんの足跡を見ていただき、互いの文化を理解し合う交流を行ってまいりたい。

議員 経済交流と文化交流があるが、先方と当町のメリットは。

町長 それぞれの文化を知って互いにその地域に誇りを持つこと。また、互いに行き来することにより経済的なものを期待できるのではないかと思う。

議員 基隆市に行くときに何を留意していくのか、どのようなことを質問するのか準備が大事だと思うが。

町長 真田丸が台湾で放送されたが、取り上げられた東吾妻町にはこういう歴史・文化があると紹介するなど、互いに調べながら歴史・文化交流をするのも一つかと思う。

議員 人的交流としてはしっかりとビジョンをもつて進めてほしいが。

町長 昨年、杉並区、南相馬、名寄と台北とで中

学生の野球交流を行ったが、子供たちがそういう異文化に触れることは将来に向けてよいことだと思うので、そういうものも視野に入れて考えてまいりたい。

その他決まったこと

■ 工事請負契約の締結

(5・40号橋(寺澤橋)補修工事)

補修工事の請負契約を行うもので、工期は3月23日まで。

● 契約金額：5702万4000円

● 契約相手：池原工業(株)代表取締役 池原純(東吾妻町)

議事録(会議録)を

ホームページに掲載しています

議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。

また、本会議の議事録、委員会の議員全員協議会の会議録は、閲覧できるように議会事務局に備え付けています。



あの請願・陳情はどうなったか？

採択した請願・陳情の処理状況が報告されました。

内 容	処 理 状 況	
町道3005号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成21年6月採択	処理中
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成22年12月採択	処理中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
町道1281号（程岩）線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処理中
請願書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸下宿区長）	平成23年6月採択	処理中
陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年6月採択	処理中
「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成25年3月採択	処理中
地元小規模零細事業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成25年9月採択	処理中
陳情書（坂上地区からガソリンスタンドを無くさないために早急に対策を）（大戸診療所友の会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書（坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）（坂上地区区長会長会）	平成25年12月採択	処理中
陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成26年3月採択	処理中
陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成26年6月採択	未決
陳情書 町道5267号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成26年9月採択	未決
萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成26年12月採択	処理中
十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成27年3月採択	未決
町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成27年3月採択	処理中
橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（漆貝戸区長）	平成27年9月採択	未決
東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成27年9月採択	未決
安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）	平成27年12月採択	未決
町道5085号線拡幅改良工事に関する陳情書（在下・上野区長）	平成27年12月採択	未決
上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成27年12月採択	未決
硬式テニスコートへの改修に関する陳情書	平成28年3月採択	処理中（工事発注手続中）
町立中学校の運営についてのアンケート調査実施に関する陳情書	平成28年3月採択	未決
町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成28年9月採択	未決
東吾妻町健康増進センター「であいの館」移設に関する陳情書	平成29年6月採択	処理中

未決…どのような方法で行うか決定されていない

処理中…着手し進行中

『請願』『陳情』

のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

町議会議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といたします。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日：定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

・提出先：議会事務局

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）

あて先（東吾妻町議会議長）

その他

邦文で記載してください。

問 質 一 般

町に聞いてみました

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（3月中に掲載予定）をご覧ください。

Q 安心して暮らせる医療体制づくりを望む

A さまざまな困難があるなか努力はしていく



根津光儀 議員

Q 議会報告会や幼・保・小・中学校の保護者・

うに活動する義務がある
と考えるが。

吾妻圏域のベッド数を現在の1300床から57

は出動できない。乗用車を使ったドクターカーで、いち早く急病の人や大げ

PTAとの懇談会の席上、地域医療に関する要望が多く寄せられた。吾妻郡内には、赤ちゃんを産むための病院や子ども

A 地域医療の弱体化は子育て環境の悪化であり困っている。脳血管や心臓にかかわる病気の入院ができるよう、県に

2床へ激減させる構想を伝えられている。医師確保については原町赤十字病院と協力しながら具体策を検討している。

悪化を防ぐことができる。救急隊と合流して消防署の救急車に患者と共に乗り込み、遠方の病院へ向かう、ラピッド方式ドクターカーのシステムをつくることを望む。

気になったときに入院できる病院がとてもしないか、まったく無い状態だ。若いお父さん・お母さんからは、夜、子どもたちが急病になったときに対応してくれる病院が無く、苦労しているので何とかしてほしいという、強い要望を受けた。町長は、この町に暮らす人たちの声を受け止めて、きちんとした医療を受けられるよ

Q 救急患者を地域の病院では受け入れることが難しい現状がある。沼田市や渋川市の病院に

搬送するなど、時間がかかりすぎることは命にかかわることだ。ドクターヘリは、雨の時や夜

Q 救急現場にドクターカーを

A 病院や他町村との協議を進める

A あらたに医師を確保しつつ、新しいシステムをつくることはとても難しいことだ。原町赤十字病院や他町村との協議を進めるため、企画課と保健福祉課に指示をし、現状より一歩でも改善できるように検討していく。



青柳はるみ議員

Q 町営の合葬墓地进行

A 誰もが安心して暮らしていける社会づくりのため検討していく

Q 町営墓地はようやく整い、墓地を求める町民にとって安心したところだと思いが、次に合葬式納骨施設を計画してもらいたい。人口減、核家族化、家族意識、〇〇家という意識は薄くなっている。また単独世帯が増えている状況が見受けられる。また、経済的社会的な弱者を救済するセーフティネットだと思

う。このような形で、将来的に行き詰っている方がいることは容易に想定される。この方たちにも対応していくのか。一人暮らしの方にとって、最後の自分の行きどころがあれば、安心して晩年を暮らすことができると思う。当町でも一人暮らしの方からの相談が増えている。他自治体でも合葬墓はふえていて、県内

では太田市に本年度で予定。これからの行政の役割として取り組んでもらいたい。

A 町の高齢者1人世帯は1538世帯、70歳以上の1人暮らしの方は576世帯である。お墓の継承が困難なケースや、代々受け継がれることを前提とした従来からの考え方が変化し、多様化しているかと思う。最近、特に都市部で、公営墓地で合葬墓の形態ができていく。セーフティネットでもあり、町民の皆さんの多様なニーズを見極めながら、今後の課題として調査、検討していく。



あがつま共同霊園(岩井)



あがつま共同霊園(岡崎)

Q 任期満了にあたっての意思は

A これからも全力で町づくりに取り組む

Q 就任以来、現在までに実施してきた特に重要な施策は何か、また印象に残っている事業は何だったか。

A 行革推進については桔梗館や特別養護老人ホームいわびつ荘、あがつまふれあい公園の指定管理制度への移行、岩櫃ふれあいの郷の役場本庁舎への転用改築の決定などがある。また、「吾妻ふるさと大橋」建設については、当初、街路事業として、18%の負担金を求められていたが、道路事業として事業替えをお願いし、負担金を無くすることで、財政負担軽減につながった。子育て支援・教育環境の充実では町内

5校の中学校を1校に統合したこと。卒業式や入学式で東吾妻中学校の校歌を歌う生徒の顔を見るたびに、統合を進めて良かったと思うところである。また、統合に合わせた中学校入学支度金の創設・拡充や公約である給食費の無料化では議員各位のご理解をいただき議決されたので、平成30年度に向け進めたいと思う。印象に残っていることでは、東日本大震災で南相馬市の被災者をいち早く受け入れ、支援ができたことは感慨深いものがある。

Q 第2次総合計画を策定しているが、町長の感じている今後の町の

課題はなにか。

A 人口減少対策が最重要課題と認識し、将来にわたり地域社会の維持・活性化を実現のため、総合計画や総合戦略の施策を着実に進めていくことが人口減少抑制につながると思う。

Q 平成30年4月が町長の任期だが、再選を目指すすすれば、どんなビジョンを抱き町民に訴えていくものは何か聞きたい。

A 三選出馬し、引き続き全力を尽くして「子供も大人もいきいき暮らせる町」、私たちの子や孫、ひ孫が誇りを持つて暮らせる東吾妻町とするために、全力で取り組

んていく。



樹下啓示議員



庁舎移転が予定されている岩櫃ふれあいの郷

Q

本庁舎移転による既存庁舎のあり方は

A

有効活用ができるように検討する

Q 老朽化した現在の本庁舎については耐震補強をして活用することは難しいと考える。本庁舎が移転した場合に速やかに取り壊して、跡地の利用について検討すべきと思うが町長の考えはどうか。

A 新庁舎移転後は、速やかに撤去することが望ましい。跡地の利用については敷地の6割が借地であるが、駅にも近く町内の中心となる地域であるので、有効活用ができるようにするとともに限られた財源で効率的な投資を行えるよう検討したい。

Q 新庁舎に上下水道課が移転する計画であるが、そのあとの建物の活用についてどのように考えているのか。

A 国から補助金を受けて建設したため、他の用途に変更することは難しい状況で補助金事業の制限がある。しかし、東吾妻町公共施設等総合管理計画に即した、町全体として施設総量の適正化・既存施設の有効活用・効率的な施設運営の実行に努めて検討する。

Q 耐震性も有り、活用しやすいと思われる東支所の利用について教育委員会が移ったあと、どうすべきと思うか。また、東支所の今後のあり方として、介護施設として利用する案、保健センターを移転する案の2案を提案する。町長の考えはどうか。

A 教育課が新庁舎に移転後も、東支所は、地区の行政機関として必要性の高い施設であると考えている。今後は、東支所のありかたや議員の提案も含め、施設が有効に活用できるように考えていきたい。



須崎幸一議員

Q

支所・出張所の人員配置の見直しをすべきでは

A

業務のあり方を含め総合的に検討したい

Q 東支所・各出張所の充実を目的として、人員配置の見直しを図るべきと考えるが、町長の考えはどうか。

A 実際は急務と考えている。今後、東支所・出張所の業務のあり方や、職員定数の適正化計画など総合的に検討をしたい。

A 地域に密着した業務を行う各出張所の充



有効活用が期待される東支所

Q 改憲容認は憲法 99 条に違反では

A 特に問題ないと考える



金澤 敏 議員

Q 先の上毛新聞紙上で、首長アンケートとして「自民党が目指す改憲に賛成か」の設問に対して、中澤町長はどちらかといえば賛成と答えた。

まともな見識があり憲法 99 条（天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ）に従う首長であるならば、そのような答えを行うのは非常識である。憲法を尊重し擁護する義務がある特別職公務員の町長として、憲法第 99 条についてどのような認識か。

A 権力を制限して国民の自由を守ること、

国民に対して憲法遵守義務が課せられていないと解釈している。

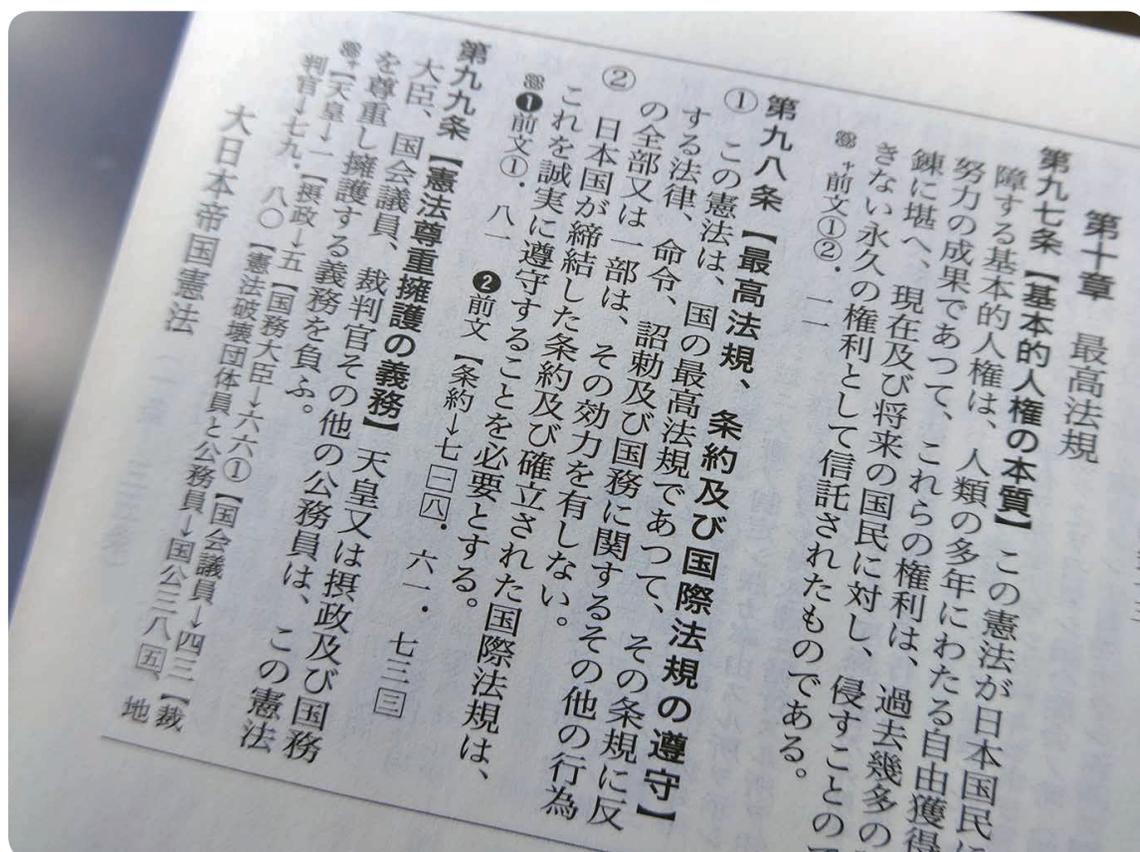
Q 国民の基本的な人権・個人の権利自由を保障するために、国家権力を縛る立憲主義に基づいて日本国憲法は制定されている。このことについて認識を伺う。

日常で行使されている政治権力や国家権力が、憲法に基づいて行われる考え方と思う。

A 自民党改憲案と現憲法の平和主義、主権在民、そして基本的人権の違いについて、町長としての解釈を解説し、

その上で認識を伺う。自民党や安倍首相と憲法観を同じくするものではない。広く国民的議論をしていけばと考

えている。



公務員の憲法尊重擁護義務について規定している日本国憲法第 99 条



重野能之議員

Q 現実に即した総合計画を

A まちの魅力とブランド力を高める計画にしたい

Q 当町はここ数年約3000人以上の規模で人口減少が進み、今年度の出生数も現時点で四十数人という状況である。やはり出生数の増加を目指すとともに、人口流出を止める政策が必要だ。今、東吾妻町第2次総合計画が策定中であり、現実に即した計画が必要と思うが町長の考えは。

A 総合計画は、今後10年間の町の行政運営の指針、また住民と行政が共有すべき町づくりの長期的展望を示す最上位の計画だ。私はこの計画を「まちの魅力とブランド力を高める計画」にしたいと考えている。

Q 任期も大詰めを迎えているが、改めて当町の長所と短所をどのように考えているか。

A やはりわが町の長所は、歴史に名をのこす岩櫃山や名水百選の箱島湧水、名勝吾妻峡などの美しい景観を織りなす自然環境だ。そして、この自然環境を活かすことでこれらできなかったことが短所ではないかと考えている。

Q 6月に実施された町民アンケート。「10年後の東吾妻町はどのようなまちであってほしいか」という問いには、「必要な医療が受けられるまち」58・2%、「安心して子どもを産み、育てられるまち」53・3%という上位2つの結果が出ている。当町の人口減少、少子化を克服するために特に必要な政策は何か。

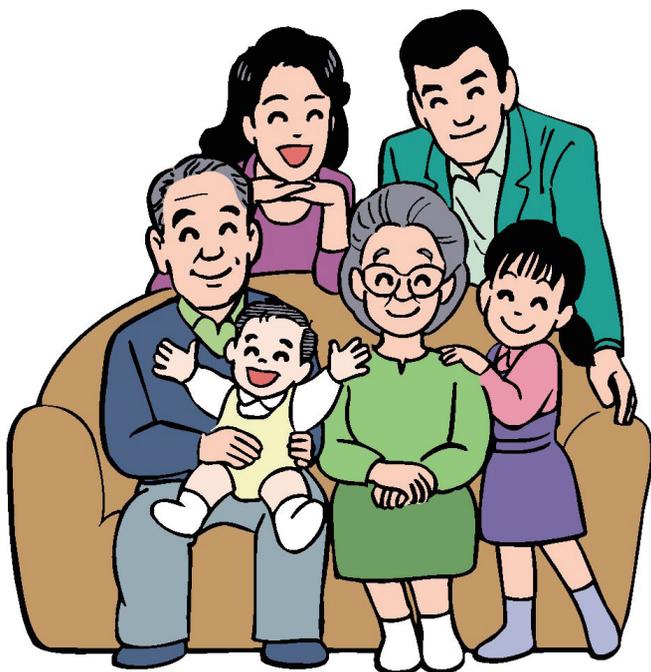
A 平成27年度に策定した総合戦略では、「2040年で1万人の人口

維持を目指す」ことを目標とし、さまざまな施策を検討・推進している。子育て支援や定住促進につながる施策を各課横断的に展開していく必要がある。

Q 今までに町の活性化のために、町民の方々の想いを聞き町政に十分反映させることがで

きたと思うか。また具体的に何かあるか。

A 例えば町の懸案である財政健全化。さまざまな新規事業を展開しながらも、財政調整基金残高を就任当初の7億8500万円から現在では22億9500万円にすることができたことなどは良かった。



一言が町を変える!!

質問・疑問に議会が答える

東吾妻町議会では、昨年の11月6日(あづま農村環境改善センター)・7日(太田公民館)・8日(中央公民館)・9日(岩島公民館)・10日(坂上公民館)の5日間、議会報告会を開催しました。

議会報告会は、町民にわかりやすく開かれた議会の実現を目指して、議会活動や仕組みなどについて理解していただくことを目的に行っています。29年度は5会場に79人の方が参加されました。

なお、結果(記録)については、準備ができしだい議会ホームページで公開するほか、質問に対する回答などは各公民館と議会事務局に備え付ける予定です。

行財政関係

【質疑応答】

問 県の主体事業であるが、緑の県民税の事業継続の問題はどのようになっているか。事業の継続を要望するが。

答 町村も努力しており、郡の議長会も連携をとって知事や県の議会等に要望を上げています。
問 町の財政指標は改善しつつあるということだが、実際のところどうなのか。

答 当町の財政は健全化の範囲のなかにあり危険な状態ではなくなっています。基金積み立て等は50億円になってきました。

た。実質公債費比率は改善されてきて12・4%ですが県内市町村ランキングでいうと最下位です。将来負担比率は65・5で県下のランキングでは下から4番目です。

問 役場窓口へ行っても、担当者不在や連絡が良く取れていないので何度も足を運ぶことがある。対応が不親切であるが改善策はとっているのか。

答 多くの町民から寄せられている問題です。行財政改革推進特別委員会として、職員の質の向上のための教育については要請しています。

問 町のふるさと納税の状況はどうなっているか。

答 昨年実績は664万9586円です。パンフレットもできました。議会も協力して財源確保に協力していきたい。

問 原材料支給工事(50万円)の申請で、何年もかかる工事について良い方法はないか。

答 請願や陳情をして議会で採択し、町が予算化を図ると話が早いケースもあります。

問 鳩の湯の道の改修工事の進捗状況は。
答 予算化されているので、少しずつたが必ず実

施されるので、もう少しお待ちいただきたい。

問 地元の人が原町の踏切(吾妻高校脇)の拡幅してもらいたい旨の陳情をしたが。

答 これはJRとの協議が必要だと思います。実施できるのかしっかりと協議するよう町に話をします。

問 第1次総合計画の目標達成度はどうか。

答 計画どおり実行されたものや、一部未実行との概要の資料は出されています。

問 町のホームページは検索しづらいし、わかりにくい。

答 見やすいホームページになるように、担当課と調整したい。

【意見・要望】

◎戦没者慰霊祭での課長級のノーネクタイに違和感を感じる。一考いただきたい。

◎新巻地区の水道施設は古く、水道管の漏れ・破

あなたの



裂が出る状態だ。施設改修などをご検討いただくのがよろしいかなと感じている。

◎高齢者が投票所で、場所が違っていて困惑していた。変更した場合、案

内をわかりやすくしてほしい。

◎長野原町の大きくて見やすいカレンダーを参考に当町も作ってもらいたい。

庁舎建設関係

【質疑応答】

問 新庁舎建設に伴い言われている総合窓口化とは何か。

答 町は基本的には最初の窓口でいろいろな手続がスムーズにできるよう形にしたいと説明しています。

問 庁舎改修工事の情報が全然出てこないが。

答 情報をこまめに出すよう町当局へ伝えます。

問 新庁舎の進入路を町民のみんなが心配しているが（特に高齢者にとつての急坂の件）。

答 町は、車での来庁はいわびつ荘がある西の方向の入口にし、今の出入り口の東の方を出口にする一方通行を考えています。

問 温泉センター廃止の提案理由は。新庁舎建設問題はもう一度検討し直してほしい。

答 町長が町の「公共施設のありかた検討会」に諮問を行った結果、温泉センター廃止の答申がなされました。検討見直しは執行部がその方向で進んでいるので変えるということはないと思います。

問 議会として庁舎建設の可否は予算か、立地か職員の意見の重みか、何が判断になったのか。

答 議員それぞれの判断で議決しました。

【意見・要望】

◎新庁舎のバリアフリー化について障害のある方に意見を聞いて欲しい。町の諮問機関等に障害のある方々を多く登用して欲しい。

教育関係

【質疑応答】

問 小学校の統合問題について、議会はどのような

に考えているのか。

答 議論はしています。

【意見・要望】

◎認定こども園の説明会で、1回目に比べ2回目の説明会では真剣に参加者が対応してくれたと聞いて、スムーズに移行できるのではないかと思う。

◎スクールバスが植栗地区の一部と岩井地区で利用できないので、できるようにしてほしい。

◎硬式テニスのコートが新設されると聞いている。これを機会に中学校の教育のなかに硬式テニス部をつくるよう働きかけて欲しい。

福祉医療関係

【質疑応答】

問 原町赤十字病院に産婦人科を設置して、安心して子育てができるような町づくりをしてほしいが。

答 産科の復活や小児科に対する要望は多くの方から寄せられています。

委員会として町に要望し、原町赤十字病院にも伝えてもらっています。廃止されている科目の復活には財政的問題が多くあります。少子化の中で重要課題としてこれから取り組んでいきます。

【意見・要望】

◎介護予防が協議体方式になるというが、サロン活動が大切と思うが組織設立に書類で苦労している。その中で庁用バスなどを利用した取り組みを求める。

防災・安全関係

【質疑応答】

問 消防の広域圏の関係であるが、例えば岡崎だったら渋川の西分署や北分署から来たほうが早い時もあるのでは。広域圏の在り方を考えるべきでは。

答 吾妻広域としてもその方向は十分認識していると思います。

【意見・要望】

◎地域の人が雪かきをす

る場合、町からの補助金を行政区ごとではなく雪かきに出た人数ごとにしてほしい。

◎町で雪かきをする場合、学校や幼稚園などを優先してほしい。

地域振興関係

【質疑応答】

問 原町の祇園祭とふるさと祭りをにぎやかにできる方法はないのか。

答 町にしっかりとつなげていきます。

問 町の花である水仙に力を入れるべきでは。

答 地域おこし協力隊が水仙街道復活プロジェクトとして活動しています。

【意見・要望】

◎東吾妻町は特に自然に恵まれている。東地区には箱島湧水、ホタル、桔梗館、東運動公園などがある。もっと活かすことをみんなで考えていくべき。

◎建築に関して、2世帯住宅に対する補助金額の

割増しを検討してほしい。

八ッ場ダム関係

【質疑応答】

問 八ッ場ダムと上信道の完成時期は。

答 八ッ場ダムに関しては平成31年度末完成で進められています。上信道に関しては現時点で明らかに進んでいません。

問 八ッ場ダム対策のうちJR廃線敷の利用についてどのように進んでいるか。

答 廃線敷の利用は自転車型トロッコの方向で検討中。2年前にも地域の皆さまに試乗機会をつくって紹介しています。モデルとなる岐阜県の旧神岡鉄道へは、議会としても足を運び調査をしています。長野原町議会とも交流をしながら議論を進めています。

上信自動車道関係

【質疑応答】

問 上信道のインター名は自由につけられるのか。

平成 29 年度議会報告会

あなたの一言が町を変える!!

議会では、町民の皆さんにわかりやすく、開かれた議会の実現を目指し、下記の日程で「議会報告会」を開催します。当日は、議会の活動状況などを知っていただくとともに、皆さんから直接ご意見やご提言をうかがいます。

現在町では、皆さんの生活に直接関わる「第2次総合計画」を策定している最中です。

この機会に人口減少や少子高齢化、子育て支援、農林商工業の振興、防災対策、地域医療、地方創生、行財政改革など町が抱える多くの問題について、ご意見やご提言をお聞かせください。

皆さんの生の声が反映された総合計画となるよう、議会として努めてまいりますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加くださるようお願い申し上げます。

開催日程			
◎あづま農村環境改善センター	11月 6日(月)	午後7時～	
◎太田公民館 大会議室	11月 7日(火)	午後7時～	
◎中央公民館 相談室	11月 8日(水)	午後7時～	
◎岩島公民館 大会議室	11月 9日(木)	午後7時～	
◎坂上公民館 大会議室	11月10日(金)	午後7時～	

※いずれの会場でも参加できます。都合の良い日にお出かけ下さい。

＝ 東吾妻町議会 ＝

東吾妻町議会事務局 ☎68-2111・内線311

道路・交通関係

【質疑応答】

問 群馬原町駅からバイパスへ接続する陳情が採択されたが、町当局の検討した結果は。

答 町からの回答は「原町駅部分での原町バイパスへつなげることは、町道路構造条例からも実現性は低い状況です。現時

点では原町赤十字病院東の県道は整備されていることから、バイパスへの接続はこの路線等を考えています」とのことです。

問 原町駅の無人化により、遠出の時切符が手に入りにくい。改善の方向は見えないのか。

答 観光協会の事務所を駅舎に移転し、無人化を解消したいと計画しています。Suicaについてはシステム設置に4から5億円かかるというわれ

困難と思われます。

【意見・要望】

◎温川キャンプ場で木漏れ日音楽祭を開催したが、週末のため群馬原町からの公共交通手段がなく、車のない客が現地へ来られない事案が発生した。臨時バスの運行をしてほしい。

人口増加対策関係

【質疑応答】

問 東吾妻町に移住して来ましたが、伝統文化や、岩島麻の保存活動、ハーフト形土偶の出土地など誇れるものがある町だと感じている。移住促進のためにどのような取り組みがなされているのか。

答 今スタートラインに ついたところです。移住者としての経験を聞かせて欲しい。

【意見・要望】

◎人口増加対策として、上信自動車道のインターチェンジなど交通の利便性を活かした工場誘致や定住促進など町のアピールを考えるべき。

空き家対策関係

【質疑応答】

問 空き家対策の方針について説明を。

答 11月に空き家対策協議会が発足し話し合いがされて1月末に発表され、それを町内に周知し4月より施行する計画です。

農業振興関係

【質疑応答】

問 猿が増えてくるのでその対策を。

答 岩島地区においては捕獲したサル3頭に発信器をつけ行動を調査をしています。役場農林課において新型のおりを造り松谷地区に設置し効果を上げています。

【意見・要望】

◎鳥獣害対策について多面的機能支払交付金事業などの補助制度を利用して施設維持に活かしているが、町内全地区で補助事業を活用するよう取り組んで欲しい。

◎遊休農地について、草刈りがしないと農業委員

会から指摘され負担である。

◎農業のブランド力を上げて欲しい。

商工業振興関係

【質疑応答】

問 中小零細商工業者の振興についてどのように考えているか。

答 庁舎移転の関係で機構改革等の計画も町にはあるので、しっかりと取り組んで行くと思います。議会としても真剣に対応をしていきます。

議会関係

【質疑応答】

問 議会報告会で質問したことに対するその後の進行状況は。

答 議会だよりの特集として掲載して、必要に応じて執行部に回答をもらい、各公民館に設置してあります。またホームページでも見ることができま

問 議会だよりはどの目線で発行されているか伺いたい。

答 編集方針としては中学生が読んでわかる内容

ということ、言葉使いなど平易になるよう編集しています。

【意見・要望】

◎区長等が提出し採択された陳情・請願書の進行状況や検討結果などを書面で回答して欲しい。

◎議会報告会で当地区に関する陳情等の進捗状況についての説明を重点に説明してほしい。

その他

【質疑応答】

問 生活支援サービス体制協議会というのが発足されたが、予算がゼロと

いうのは疑問だが。
答 協議体のことと思いますが、1層は町全体の協議体で、2層は地元で見ようということ、1層に対しては社会福祉協議会も金銭的に支援したいという言葉をいただいています。

問 坂上小学校があった土地の有効活用について

伺いたい。

答 特別養護老人ホーム誘致を計画しましたが、手を挙げていた業者が設置が困難ということ、その件が終了し、現在は利用が決まっています。

【意見・要望】

◎地域振興センターの利用手続きが複雑だ。管理人をおいて欲しい。PR不足である。多くの人に存在を知らせて欲しい。

◎植栗に特別小学校へ行っている小・中・高校生対象の放課後等デイサービスが発足したが、注目して欲しい。

◎アレチウリという特定外来生物について駆除を進めて欲しい。吾妻溪谷の名勝指定地内を中心に、生息域が広がっており、観光地として打撃になっている。観光地として心配している。

紙面の都合により、すべての質問や意見などを掲載することはできませんでした。

高生最後の提案～

吾妻高校生議会及び懇談会

11月14日、昨年度に引き続き吾妻高校生議会及び懇談会「JCK議会」吾妻高生最後の提案」が議会議場で開かれ、吾妻高等学校の生徒13人（その内3人は欠席のため代理が質問）からの町政一般質問に中澤恒喜町長が答弁を行いました。なお、閉会後には引き続き懇談会が行われました。

町政一般質問（要旨）

外灯の増設について

2番 市村 葵議員

Q 部活で19時台や20時台の電車で帰る高校生が多数いる。町の安全や事故防止のためにもう一度夜道の安全対策の現状を教えてください。昨年外灯を増やしてほしいと述べたが、現在どのような変化があったか、どのような改善策を考えているか。

A 街路灯は町内全域で1902灯、昨年新たに10灯を設置し、他に修理などが8カ所ある。夜道の安全対策としては防犯灯を要望に沿った場所へ

設置できるように検討していく。

群馬原町駅ホームの扉について

3番 西巻瑞葉議員

Q 朝、群馬原町駅のホームから待合室へ向かう扉が片方しかあいておらず、一方通行であるため混雑している。高校生の乗り降りが激しい時間帯で、一般のお客さんに迷惑が掛かっていると日ごろから感じている。そのため扉を両開きにしていただくことは可能か。

A JRに確認をしたところ、扉と戸袋に手を挟んでしまう事故があり、それ以降片側のみを開放と

したようである。今後このような事故が起こらないよう、また混雑が解消できるよう検討して、両開きにする方向でいるとの回答をJRからいただいた。

歩道の安全対策について

4番 河原田優衣議員

Q ケンタッキーフライドチキンからメガネの板垣までの歩道がとても狭い。朝晩交通量が多い場所なので、登下校で使用している生徒は危険だと感じている。安全を確保する改善策を。

A 昭和40年代前半の基盤整備当時の農道を歩行者が通ること、歩道は計画されないままに現在にいたっている。バイパス開通から40年が経過したこと、県土整備部と歩道の設置に向け協議していく。加えて電柱をなくす電線共同溝、無電柱化工事に着手している。地震等による電柱の

倒壊で緊急輸送の障害発生を未然に防ぐことや、景観を良好にする目的の事業である。

不審者への対応について

5番 田中那奈美議員

Q 本校の周辺では不審者の情報が頻繁に入ってくる。実際に友達か不審者に追いかけられたり、話しかけられたといった被害があった。それに対してどのような対応をし、対策を考えているのか。

A このような情報は防犯対策として大切で、まずは正確な情報が大切だと考えている。警察や各地域にある防犯協会と連携して事件を未然に防ぐため、地域の方の協力をいただいて防犯パトロール等の活動や、防犯カメラを設置して捜査に協力できるように対策も行っている。友人が追いかけられたりしたとのことであるが、速やかに警察、

JCK議会 ～ 吾



学校に相談していただきたい。

群馬原町駅へのゴミ箱設置について

6番 木村まい議員

Q 群馬原町駅にゴミ箱がないので、駅のトイレのごみ箱に捨てたり、道に捨てたりする人もいます。環境美化のためゴミ箱の設置をお願いします。

A 4月から群馬原町駅は無人工化になってしまいましたが、駅は町の玄関であり、顔ともいえるところであるので、観光客の利便性を考え、駅舎に町の観光協会を入れるように、現在JRと協議を進めている。駅舎に観光協会が入れば、ごみ箱の設置も可能と考えている。

東吾妻町の観光資源について

7番 齊藤花梨議員

Q 東吾妻町の観光資源について伺う。今回調べると岩櫃城をはじめ

とても多くの城跡が残っていることがわかった。とてもいい観光資源だと思うが、山城などをめぐるときのバスなどが出ているか。城跡をめぐるのは多くの発見があり、町としてツアーを企画してはどうか。

A 町内の城跡、戦国時代の築城で約20カ所ほどあるということだが、その多くが幹線道から奥まった場所にあり、整備も十分にされていないのが実態。しかし、岩櫃城や稻荷城、内出城などは道路からの距離などの面を考えると、他の観光資源と合わせた企画など検討の余地があると思う。特に岩櫃城は歴史的、学術的な価値も高く、山城としては城下町を備えていたことがうかがわれ、大変魅力を持った城跡といえる。「真田丸」効果もあり、町でも多くの方に越えたいただくためにPRやキャンペーン、現地

案内所を設置し対応している。また観光面だけでなく、文化財史跡として国の指定を受けるため調査研究を進めており、その成果に期待を寄せている。女性の歴史愛好家、歴女の皆さんなどを対象にした企画を検討する必要があると考えている。

横断歩道への信号機設置について

8番 今井菜月議員

Q メガネの板垣前の横断歩道に信号をつけてほしい。ここは車の通りがとても多く、車が通らないすきを見て通ることがある。時々中学生が自転車で横断歩道を急いで渡る様子が見られ、一歩間違えば大きな事故につながる可能性が高いと思う。とても危険に感じられるので、早急に対策をお願いしたい。

A ご指摘の交差点は、都市計画道路が槻木交差点から、すでに改良拡

幅工事がされている中学校東の道路に接続する計画が平成7年に決定している。着手、完成の後は当然信号機は設置されると思われる。現在の交差点は南の道が狭く車両及び歩行者の通行が少ないこと、吾妻高校裏の長町交差点までの距離が短いこと、現在まで信号機が設置されていないと思われる。ご指摘もあつたので、関連機関とまずは相談する。

児童などへの支援について

9番 本多七海議員代理

Q 私は高校卒業後、発達障がいのある就学前や小学校の児童を支援する施設などで働きたいと思っている。そこで、町では、就学前や小学生の発達障がいを持つ子供にどのような支援をしているのか、施設や制度についてたずねる。

A まずご自身の将来の

目標を定め、問題意識を持たれて取り組まれる姿勢に対して深く敬意を表す。平成16年に発達障がい者支援法が制定された。これから説明するのは大きく3つ、人的な支援、各種制度の活用、施設の支援である。まず人的支援は、発達が気になるお子さんも含めすべての子供の成長、学びを保証することを意図しての支援である。各幼稚園、保育所、学校に2から3名、中学校には7名の支援や指導を行う先生や特別支援員を配置している。給食センターでは、1名がアレルギー症状を起こす食材があれば除去するなどを担当している。2点目は①指導、支援の仕方について専門家がアドバイザーをする制度。②特別支援学校のアドバイザーが現場の先生に助言したり、保護者からの相談に乗ったりする制度。③特別支援教育専

門相談員の活用。④マザー&チャイルド事業で月に一度町から保健師が加わり遊び触れ合う場を設けている。小学校低学年を対象としたペアレントキッズという取り組みがある。⑤関係機関との連携や研修会。⑥1人1人の子供さんの状況に合わせ、きめ細かい指導ができるよう、管内全域から通う原町小学校に設置している。⑦誰にもわかりやすい授業への工夫。⑧歳見別健診。⑨町教育委員会に経験豊富な相談員を配置し、気になる子供の保護者や教職員からの相談に応じている。3つ目の施設面での支援はスロープの設置、危険箇所への緩衝材の取り付け、パニック状態に陥った子供さんがクールダウンして落ち着けるよう小部屋を設置。成長、学びを促すためにさまざまな支援や情報提供を進めていく。

少子高齢化と町の活性化について

10番 千明真穂議員

Q 少子高齢化と町の活性化について伺う。町の国勢調査人口を調べたところ、平成17年は人口が1万6847人だが、平成27年には1万4033人へと減少している。人口減少の問題に直面していると思われる。町の人口減少への対策と地域を活性化するための具体的な方針があるか。

A 全国的に人口減少が

進む中、本町でも死亡者が出生数より上回る自然減に加え、若年層の町外への流出などの要因により人口減少が進行している。人口問題研究所の試算によると、本町の人口は2040年には1万人を割り込むと推計されており、消費や経済力の低下、税收の減少による公共サービスの質、量の低下、社会保障分野における現役世代の負担の増大などさまざまな問題が懸念されると考える。平成





27年に人口ビジョン及び総合戦略を策定し、20歳から39歳までの若年世代の人口増を実現することを目的に、町のPRによる知名度向上、産業振興による雇用の創出、住環境、住宅政策の推進、生活利便性の向上、子育て環境・教育の充実・強化の柱に基づき各種事業を推進している。

医療従事者の不足について

11番 堀口咲希議員

Q 医療従事者の不足について伺う。私は将来を

看護師になることを目標としているため、夏休みに原町赤十字病院でふれあい看護体験をした。その際、医師が不足しているため患者さんを受け入れることができないとも言っていた。地域住民の健康のためにも軽視できない問題だと思う。どのような見解を持っているか、対策について意見を伺う。

A 医師不足は十分に把握している。具体的には診療科の縮小や緊急患者の受け入れ困難から他の医療機関への転送が常態化していることなどが問題と考えている。町としては吾妻地域の拠点病院としてとらえ、医療機器の整備や運営費の補助を継続実施している。地域医療の拠点として位置づけ、その機能が十分発揮できるよう郡内各自治体と連携して医師確保対策等に取り組んでまいりたい。

若者の人口流出について

12番 松本有咲議員

Q 若者の人口流出について伺う。人口減についてどのような施策を行っているか。空き家対策など、若い世代が移住または定着できるように施策などはあるか。民泊などに活用するというのは難しいか。

A 総合戦略に若い世代の移住を推進している。空き家の活用次第では地域の資源となり得るもの。積極的な利活用を促すような助成制度であるとともに、若者の移住の一助となるような制度設計を進めていく。

町の雇用対策について

13番 大井萌々議員代理

Q 人口減が続く中、雇用対策について伺う。また人口減を未然に防げなかったか。

A 平成28年度中に320人が減少しているが、減少カーブを少しでも

も緩やかにしたい。雇用対策プロジェクトでは、ハローワークと町内企業の協力をいただき、高校生を対象にした合同説明会を予定している。町内で働く機会づくりにしてほしい。若者が定着してくれるような状況を作り上げていくことが遅れていたということはあるかと思う。

吾妻高校が特別支援学校になった場合の対応について

14番 神藤日菜子議員代理

Q 吾妻高校の校舎は特別支援学校になった場合、通学路や駅などバリアフリー化を進める必要があると思う。通学には私たち以上に負担がかかると思うが、町の対策はどうか。

A 駅からの通学路の排水溝のフタは老朽化して、隙間や段差があるので交換や補修を検討する。支援学校開校までに

担当教職員と現地調査をする中で、補修の程度について指導を受け、精査して対応していく。

参加者名 (順不同・敬称略)

市村 葵 (2年)	西巻 璃茉 (2年)	河原田優衣 (2年)	田中那奈美 (1年)
木村 まい (2年)	齊藤 花梨 (2年)	今井 菜月 (1年)	千明 真穂 (3年)
堀口 咲希 (3年)	松本 有咲 (3年)	飯塚 愛菜 (2年)	塩野入柚香 (2年)
山田 奈緒 (2年)	横坂 玲奈 (2年)	及川 優菜 (1年)	小堀 優衣 (1年)
下谷 琴音 (1年)	湯本 朱音 (1年)	町田 佳代 (1年)	
校長 福原佐知子	教頭 浅井 道明	生徒会顧問 教諭 山田 瑞紀	教諭 北原 修

業を控えた中3の提案～

学生議会及び懇談会を開催

昨年11月30日、東吾妻中学生議会及び懇談会「東吾妻JHS議会」卒業を控えた中3からの提案「」が役場3階の議会議場で開かれました。7名の中学生議員からの一般質問に対し、中澤恒喜町長が答弁を行いました。

路線バスについて

2番 須田 心議員

Q 路線バスの有効活用について、運行時間の見直しや運行便を増やすことは可能か。

A バスの運行時間の見直しは可能だが、増便となると厳しいところがある。関係者の代表で組織する東吾妻町地域公共交通活性化協議会で効率的な運行を目指して運行時間や路線の見直しを協議している。

Q 時刻表を各家庭に配付したり、高齢者を対象としたシニアパスポートを作ることは可能か。

A 28年4月から時刻表を各家庭に配付している。高齢者の割引制度は検討中である。

ふるさと納税の現状と今後の活用について

3番 松井優汰議員

Q 他の市町村のふるさと納税の現状を見て、東吾妻町の今の課題は。

A 平成28年度は全国から190件、約665万円の寄付をいただいた。今後も制度の趣旨に沿った、責任と良識のある対応をしていく考えだ。

Q 空き家を古民家風にリフォームし、地元の食材を使った料理を提供して宿泊してもらうようなプランは、ふるさと納税の商品として実現可能か。

A お礼の商品として実現可能である。坂上地区には同じような施設があり、事業者に協力いただいている。

高齢者支援について

4番 大前優杏議員

Q 70歳以上の人を対象とした「安心カード」が十分に活用されていないと思う。さらに周知を徹底し全世帯へのカードの配付を進めてもらいたい。

A 平成24年9月より、65歳以上のひとり暮らし高齢者で希望者に安心キットを配付している。活用実績とし、ひとり暮らし高齢者の救急搬送時に消防署員が安心キット内の安心カードを活用してスムーズな救急搬送ができたと聞いている。

Q 運転免許証を返納した高齢者への買い物・病院代行サービスを定年退職したシニア世代がボランティアとして有効活用できないか。

A シニア世代のボランティアとしての運転代行は安全面の配慮、法的な問題をはじめ、関係機関との調整が必要と思う。町では免許証を返納

された方に商品券またはバスカードを渡している

と聞いたが、さらに推進するために代行サービス

36のアクションプランの進行状況について

5番 嶋村美咲議員

Q 町の活性化を目的とする36のアクションプランの進行状況は。そのプランには基幹事業が7項目あるが、実施されているプランの成果について伺いたい。

A 平成27年に町は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。7項目のうち企業誘致セールス事業は本年度県外から工場機能を町内の工場に移転したケースがある。大河ドラマ「真田丸」による観光振興推進事業では岩櫃山周辺の入り込み客数は16万5761人と

ジュニアハイスクール 東吾妻JHS 議会 ～卒

東吾妻中



なった。食によるまちおこし事業では、デビルズタンバーガーと名付けたハンバーガーの試作品を作った。ひがしあがつま出合いプロジェクトではいわびつ婚を行い、平成28年は8組のカップルが成立した。

6番 大沢里穂議員

Q 空き家を活用して古き良き田舎をテーマに風景を整備しドラマや映画の撮影現場として利用してもらったり訪れた人には伝統工芸品の手作り体験や販売を行えば町の知名度や訪れる人の増加につながると思うが。

A 昨年、空き家などの利用に関する意向調査を実施し、264人から回答をいただいた。意向は全国平均と比べると建築年数が古い空き家が多く、空き家になつてからの年数は10

年以上が6割を占め所有者の利活用の意向が弱いという結果になった。アンケート調査の結果に基づき現在空き家等対策計画を策定中である。その中で空き家のリフォームや取得、解体した場合の補助制度の創設や空き家のデータベース化、移住相談窓口の充実など考えている。

7番 佐藤知明議員

Q 今年10月に吾妻ふるさと大橋が開通した。駅前の活性化と町のイメージアップのために大がかりなイルミネーションを展開して町の知名度向上と観光客の集客を目指すことを検討していただきたいが。

A 提案のイルミネーションは地域の魅力アップにつながり、また観光客の増加や駅前のにぎわいを取り戻すきっかけに

つながると思う。原町地区には伝統行事もあり東吾妻ふるさと祭りも開催されている。駅前の活性化のため空き店舗活用支援事業やビクターセンター施設の整備などを促進していきたいと思う。

Q 食事どころや休憩所の設置と空き地に駐車スペースを確保して将来民間企業に委託して事業を展開することは可能か。

A 今後に向けての大きな提案なので検討していきたいと思う。

8番 佐藤美咲議員

Q 町長の公約である小・中学生の給食費無料化が実現されていないが、いつごろ実現されるのか。

A 学校給食費が無料化となると年間5000万円以上の予算が必要となる。財源については町が知恵を絞って皆さんのためになるよう努力して

いきたいと思う。これから議員の理解をいただき、条例や予算の議決を得て来年4月には幼稚園、こども園、小・中学生の給食費無料化を実現したいと考えている。

参加者名 (順不同・敬称略)

須田 心(3年)	松井 優汰(3年)	大前 優杏(3年)	嶋村 美咲(3年)
大沢 里穂(3年)	佐藤 知明(3年)	佐藤 美咲(3年)	金子 桃花(3年)
一場 勇輝(3年)	藤岡なつみ(3年)	小林 大雅(3年)	荻原 滉太(3年)
角田 裕美(3年)	村田 潤(3年)	黒岩 恭介(3年)	原田 凜(3年)
上原 春香(3年)	小林 大路(3年)	高山 陸(3年)	茂木亮太郎(3年)
村上 一光(3年)	霞 朔矢(3年)	高橋 寿成(3年)	金井 夢人(3年)
町田 祥基(3年)	校長 茂木 一弘	教諭 山崎 克彦	教諭 熊川 武士

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

12月6・7日に総務建設常任委員会が開かれ、町長をはじめ各担当課長の出席を求め調査研究を行いました。委員会の中では、県内市町村財政健全化判断比率の状況（平成28年度決算時点での実質公債費比率は県下最下位）、防火水槽設置の現状、国民健康保険制度改革後の納付金等の試算、個人町県民税をはじめとした各税の収入内訳などの説明を受けました。また八ッ場ダム建設に伴うJR廃線敷、旧国道145号の利活用に関する説明もあり、廃線敷については自転車型トロッコの事業化に向けて進められていく予定です。

文教厚生常任委員会

9月29日、10月13日、11月10日・24日に委員参加の下、それぞれココア揚げパンの試食会、認定こ



東小学校で給食を試食



ココア揚げパンの試食

ども園に関する教育課事務調査、給食の試食会、東吾妻町幼小中PTA連絡協議会・保育所保護者会関係者との懇談会を開催しました。ココア揚げパンの試食会では、試食後、



PTAと懇談会を実施

給食への復活の要望、給食に関するアンケート調査の依頼等が出されました。認定こども園では、給食費の無償化やその財源確保、認定こども園の名称等について質疑応答を行いました。給食の試食会では東小学校での給食体験と生徒の給食風景を視察しました。懇談会では保育所、幼稚園、小学校並びに東吾妻中学校からの要望や意見を聞いた後、「学校教育」「認定こども園」「通園（所）・通学」「給食」等について意見交換を行いました。

行財政改革推進

特別委員会

12月8日、企画課から事業評価結果集計表・事業シート、総務課から本庁舎建設は建築確認申請許可が下りないため工程が遅れているが、1月下旬に入札後、臨時会の予定。約2カ月遅れだが最終的には予定通り完成・引越しのことです。

質疑応答では、特に今回の補正予算の5億円弱に対しての起債等に対する疑念や借金体質からの脱却への要望が出され、給食費の無料化では財源の根拠とされた固定資産税が3年くらい入って来ないことで交付税が減額されるのが考慮されていませんでした。財政担当は債権による基金の運用で財源を検討しているとのこと。以前、吾妻広域町村圏振興整備組合で債権の運用を行ったことで大問題になっています。今後しっかりと推移を見守りたいと思います。

各委員会からの活動報告

八ッ場ダム及び地域 開発事業対策特別委 員会

9月29日、道の駅八ッ場ふるさと館において、東吾妻町及び長野原町議

会のダム対策特別委員会委員、両町副町長、議会事務局長など出席のもと懇談会を行いました。両町の関連する基金事業を中心に地域振興に関する相互協力について、今後とも前向きに協議を進めていくことを確認しました。



自転車型トロッコに試乗

10月24日、松谷の廃線敷において町企画の自転

車型トロッコの試験運行を長野原町議会のダム対策特別委員会委員も誘って試乗を行い、国交省職員の内案で濁水プラントやダム下から進行状況の説明を受けました。

12月定例会において、国、県、町より八ッ場ダムの9月定例会以降の進捗状況の報告があり、その後町より上信自動車道の進捗状況の報告後、開通時期の目安が祖母島く箱島バイパスH31年度、吾妻東バイパス2期H37年度、吾妻東バイパスH36年度、吾妻西バイパスH31年度からH34年度の完成予定との報告がありました。また、自転車型トロッコ運行のためのJR廃線敷の現況調査報告がされました。特に道陸神トンネルの改修費用が多額になるとの報告があり、開業に向けた、今後の運営維持管理の具体的な試算表を至急作成するよう要望しました。

地方創生調査 特別委員会

まち・ひと・しごと総合戦略アクションプラン36事業のうち、特に12事業について審議しました。実行に至った事業は、観光案内拠点施設・吾妻溪谷シャトルバス運行・食による町おこし、デビルズバーガー販売・町内事業所雇用対策プロジェクトなどがあり、事業評価に基づいて指摘し、さらに推進することについて議論しました。これらは全て人口減対策であり、町創生のため、住民が自主的、主体的に最大限力を発揮していけるよう考えていく施策であり、住民の理解を得られる事業ができるよう調査していくこととしました。

議会広報対策 特別委員会

閉会中の活動として、町村議会広報研修会（東

京）および議会広報研修会（前橋）に参加しました。当委員会は中学生でもわかりやすく読める内容を目標に編集していますが、多くの町村議会では、小学校5・6年生が読んでわかりやすい内容を目指しているようです。

今後写真やイラストなどを多く使い、わかりやすい紙面を目指したいと思います。



11月15日に前橋市で行われた議会広報研修会に参加



9月28日に行われた町村議会広報研修会に参加

「踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにゃ損損」 中村 啓次さん（大字金井在住）

上記フレーズでおなじみの徳島阿波踊り。今では群馬県でも阿波踊りの団体、『連』が7連以上存在しています。そのなかでも群馬県の中で一番最初に登録されたのが、わが町の『いわびつ連』です。私がこのいわびつ連に入ったのは社会に出てすぐの事でした。年を追うごとに違う面白さに気づき、気づけばもう15年以上の月日が経っていました。



私は入連当時から「鳴り物」と呼ばれるお囃子が担当で、鳴り物は、主に鐘・大太鼓・締め太鼓・篠笛・三味線がありますが、私は大太鼓・鐘・締め太鼓を担当してきました。

現在は主軸の鐘を担当していますが、ほかの連と合同で公演するときは締め太鼓や大太鼓に戻ることもあるので、練習では鐘以外の楽器も行うこともあります。

鐘を担当してまだ3年程度なので、これからも練習は自分のことはもちろん、ほかの楽器の音が綺麗に停止や再開ができるように考え、音の強弱など工

夫しながら練習に臨んでいきたいと思います。

8月には阿波踊りに関わる者の憧れの最大のイベントである「高円寺阿波踊り祭」があります。この祭りは、踊り・お囃子・観客がひとつになる一体感を感じることが出来ます。見物客のかたが、踊り手やお囃子を呼びます。うちわでおいでおいでと手招きします。列から飛び出て観客の目の前で自分の踊りやお囃子を披露し、また列に戻る。これは言葉にできない楽しさがあります。

「ふるさと祭り」では、いわびつ連だけでなく高円寺阿波踊り連のみなさまをはじめ、県内外の阿波踊り相互支援の各連のみなさまが応援に駆けつけて下さいます。「ふるさと祭り」では各連の組踊を楽しむことができますし、みなさんで大きな輪を作って踊る「輪踊り」では、踊り手だけではなく見ている方々も輪に入って踊ることも出来ます。「右手右足・左手左足、一緒に出せば阿波踊り」と以前、高円寺の連のかたが言っていたとおり、それだけで阿波踊りになります。

誰でもいつでも踊れるのが阿波踊りだと思います。県下初登録のいわびつ連。今は連員が十数名となってしまいましたが、私は、この先もこの町でこの連で阿波踊りを続けていきたいです。

では、最後にみなさんと一緒に踊りましょう！「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損損、やっとなーやっとなー」。

議会の傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は3月5日開会予定

3月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
	← 本会議	本会議	常委	常委	特委	
11	12	13	14	15	16	17
	特委 全協			本会議	本会議	

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

平成30年の新春を迎え、今年一年も皆様にとつて穏やかな年となるようご祈念申し上げます。
11月6日から10日まで、5会場で議会報告会を開催し、町民の皆様から貴重なご意見、ご要望を頂きました。これらを今後の議会活動に活かし、より開かれた議会へ、より信頼される議会へと努力したいと思っております。

- また、議会の審議や活動等、町民の皆さんに手にとって読んでいただけるよう
- 須崎 幸一
 - 青柳 はるみ
 - 金澤 恒敏
 - 茂木 武二
 - 里見 能之
 - 重野 光儀
 - 副委員長 根津 光儀
 - 委員長 重野 光儀
 - 委員 須崎 幸一
 - 委員 青柳 はるみ
 - 委員 金澤 恒敏
 - 委員 茂木 武二
 - 委員 里見 能之
 - 委員 重野 光儀

うなわかりやすい編集に心がけ、いただいたご意見、感想を町政に反映してまいりたいと思います。今後ともご愛読くださいますようお願い致します。
(里見 武男)

編
集
後
記